

個人山行

## 南アルプス：日向山

- ◆日程 2020年7月12日(日)
- ◆メンバー L：OT, 他一名
- ◆天候 晴

今回も梅雨の晴れ間を狙って計画した。今回もリハビリだが、夏合宿参加のためにテント泊装備を背負っての歩荷山行だ。コロナ対策のために自家用車でアプローチしたので、周回コースが望ましい。登りは稜線、下りは溪谷を楽しむルート設定にした。



前日の雨の影響で蒸し暑い中、テント泊装備で登るのはトレーニングに最適だ。標高が低く

(1660m)で高低差900m程度と言うなかれ。1600mの笹原付近までひたすら登りが続く。しかし緩やかな斜面の林を抜けるといきなり山頂に躍り出る。山頂からは甲斐駒や鳳凰山が見渡せて圧巻だ。その名峰たちと同様にここは花崗岩が風化した真砂土に覆われた砂浜だ。乾いた風が吹き実に爽やかだが、コンロを焚くには風が強い。裏の林に引っ込んで食事をすることにした。カップ麺と食後のエスプレッソをゆっくりと味わった。

錦滝に向かう下山ルートは滑落事故が起きていて危ないとのことだが、時間が十分にあるからそのまま進んだのがいけなかった。真砂土を下った先からいきなりルートを見失う。地形図を頼りに何とか復帰したが、その先もルート全体が荒れていてマーキングも途切れ途切れ。注意していないとすぐに見失う。そんな具合で錦滝まで倍の所要時間となった。ここからは林道で矢立石に戻るか、谷の反対側の溪谷ルートに入るのだが、地形図では起伏が少ないと思われたので溪谷ルートを取った。しかし、いきなり林道が崩壊しているなど、とにかく進みにくい。



神蛇滝付近の分岐では、この先の溪谷ルートには入るなどの「警告」あり。ここは素直に尾根(実際はトラバース)ルートを取ることにした。それでもなかなか荒れている。沢の詰め上がりに慣れていないとちょっと面倒かも。一昨年の冬合宿で歩いた懐かしの黒戸尾根との合流地点にたどり着くとほどなくゴールだ。

人の通らない荒れたルートだが、冒険的要素が満載で楽しかった。いつか名水の誉れ高い尾白川溪谷ルートを山の会のメンバーと踏破してみたい。(記：OT)

CT：自宅 5：30＝(自動車)＝尾白川溪谷駐車場 9：00-矢立石 10：05-日向山  
 11：45/13：35-錦滝 14：40/14：50-不動滝 15：30-神蛇滝 16：20-尾根ルート  
 -竹宇駒ヶ岳神社 17：05-尾白川溪谷駐車場 17：15＝(自動車)＝自宅